



議題

萩医療圏における医療機能再編等について

- (1) 第1回、第2回中核病院協議会のまとめ
- (2) 2病院統合後の市の財政負担の見込等について
～ランニングコストについて～



(1) 第1回、第2回中核病院協議会のまとめ

● 萩医療圏において公的、中核的病院が担うべき医療

■ 協議会での主な意見

- 最低限必要な医療は堅持してもらいたい
- 萩医療圏の二次救急体制の維持が最優先
- 若い医療従事者が成長できる教育環境が必要

(課題)

- ・ 医師や看護師等の医療従事者を確保
 - ✓ 統合するだけでは医師の確保はできない
 - ✓ 若い医療従事者にとって成長できる教育環境の整備が必要
- ・ 限られた地域医療資源の集約し、効率的な医療体制の構築
 - ✓ ある程度の病床規模が必要

※医療圏で必要な医療

(5 疾病) がん・脳卒中・急性心筋梗塞・精神・糖尿病
(5 事業) 救急・周産期・小児・へき地・災害 + 感染症

▶ 公的・中核的病院

地域医療の核となり、民間では困難な不採算医療等を担う

萩医療圏における二次救急の現状

●二次救急は医療圏内の病院での対応が原則

萩医療圏における二次救急提供体制

輪番体制の維持が困難 (R2.5~) 4病院⇒3病院

※今は圏域内の病院の努力で、何とか受入れができています

このままでは、萩で救急車を呼んでも搬送先が見つからず、助かる命も助からなくなることも、現実として起こりかねない危機的な状況にあります。

崩壊
寸前



(よくある質問)

Q.圏域内での完結にこだわるのではなく、他の近隣医療圏（山口、長門、益田医療圏）と連携すればいいのではないか。

A.二次救急は萩医療圏域内の救急指定病院（4病院）で対応すべきものです。

救急患者を圏域外の医療機関へ搬送することは原則不可

- (例外)
- ・萩医療圏で対応が難しい高度な救急救命が必要な救急患者
 - ・地理的な要因で他の医療圏と協定を締結している地域
(田万川・須佐地域 ⇒ 益田医療圏)

(1) 第1回、第2回中核病院協議会のまとめ

●医療機能再編等のパターンの検討案

■検討におけるポイント

➤地域医療構想

将来人口推計をもとに2025年（令和7年）に必要な病床数（病床の必要量）を4つの医療機能ごとに推計した上で、地域の医療関係者の協議を通じて病床の機能分化と連携を進め、効率的な医療提供体制を実現する取組

地域医療構想における必要病床数との比較(第1回中核病院協議会資料より)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
萩医療圏の病床数	0	302	57	428	787
地域医療構想における必要病床数	24	178	181	232	615
比較	(不足)▲24	(過剰)124	(不足)▲124	(過剰)196	(過剰)172

※圏域全体では病床数が過剰な状況であり、単一の病院で病床を増やすことができない

➤萩医療圏の現状

- ・ 医師や看護師等の医療従事者の不足、高齢化
- ・ マンパワー不足により、医療圏の医療提供体制（特に二次救急）が危機的な状況
- ・ 圏域唯一の公立病院である萩市民病院の病床は100床と少なく、地域に必要な医療を全て担うには現実的に厳しい

●医療機能再編等のパターンの検討案

■これまでの2病院統合案（萩市民病院と都志見病院の統合）

▶地域医療構想調整会議等で検討協議

▶市民から市の財政負担を心配する声

第2回中核病院協議会

これまでの検討（中核病院形成検討委員会における仮設定）をベースに概算額を3つのパターン別にイニシャルコストの総事業費、市の実質負担額、病院負担額を提示

※総事業費 97億円～154.3億円

（このうち、市の実質負担21.7億円～34.9億円、病院負担27.8億円～44.8億円）

（意見）将来の負担についてはランニングコスト（継続的な負担）も考える必要がある

■これまでの2病院統合案以外の案

▶具体的な提案はなし

（意見）将来、萩市の人口が減少してくる。統合して中核病院を形成する必要はないのではないか。

⇒ 人口は減少しても、医療は必要で維持すべき

(2) 2病院統合後の市の財政負担の見込について

●市から病院事業会計に対して支出している繰出金

<よくある質問>

Q. 萩市民病院は毎年赤字決算が続いている。その赤字分を毎年、市が補填しているのではないか。

A. 市から萩市民病院への繰出は基準に基づくもの（赤字額≠繰出金）

■公的病院が担う不採算医療に対する市の繰出金（基準）

(例) 救急医療負担金、へき地医療負担金、小児医療負担金など

※これらの負担金は病院会計が黒字・赤字に関わらず基準に沿って支出（交付税措置あり）

繰出金の総額（令和元年度萩市民病院決算額）：591,467千円

・ 2病院統合後の病院への市からの繰出金を試算 ⇒ （資料2）

■公的病院の赤字補填のための繰出金（基準外） 支出実績なし

▶統合後の病院の収支見込(イメージ)の確認

・ 仮に設定した前提条件（以前の中核病院形成検討委員会での協議をベース）の下で、2病院統合後の病院の収支見込を試算 ⇒ （資料3）

※具体的な病院経営のシミュレーションの検証などは、統合の方針となった場合、協議会とは別に設置する学識経験者等を含めた専門組織で行うことを想定。